

『日々の足跡』

三春町立三春中学校

【“一生懸命”を楽しんできました！ ～第15回たむバンドフェスティバル～】

田村市文化センターで『たむらバンドフェスティバル』が開催され吹奏楽部が『サウンド・オブ・ユニオン』との合同演奏を披露しました。

本校吹奏楽部は現在10名で活動を続けています。先の全校集会では『三春中学校から音楽の灯を消してはならない』というメッセージを詩人ツェーザル・フライシュレンの『心に太陽を持って』という詩と

とともに、「三春中学校にはいつも身近に音楽がありました。音楽は人の心を慰め、勇気づけ、癒やし、結びつけてくれます。音楽の灯を消してはなりません。」と伝えました。吹奏楽部のみなさんがお兄さん、お姉さんと一緒に大好きな音楽の演奏に取り組む姿に“三春中学校に音楽の灯は明々と灯っている”ことを確信しました。



【今日もありがとう！～一人でも、みんなでも、自らの信念を心に取り組みます。～】

未明から降り出した雪が登校時間も降り続いていました。雪かきを持って出かけるとさっぱりした頭をした生徒が一人雪かきをしてくれて



いました。「ありがとうね。」を声をかけると恥ずかしそうに、「はい。」と返事してくれました。

“みんなでも、一人でも”信念をもって他と協調して行動できる力は、本当の『自立』にむけてとても大切な力です。三春中学校のめざす『忠恕』『探究』『必達』の生徒像が確実に着実に実現へ向かっていると確信しました。

すべての生徒が、“人がいる、いないに関わらず”、“本当に大切なものを見極め”、“自分のため人のため”、“他と協調しつつ”、“適切な言動のできる”生徒に育てほしい、そして、そうあり続けてほしいと願います。

「今日も雪かきをありがとう。」

【“プロ”の仕事ぶり！～よい仕事（授業） をするために手を抜かず心を込めます。～】

校舎内を巡回しているとき、3階の技術科教室から、「コリコリ、シュッシュ。」という音が聞こえてきました。木工の授業の特別講師佐久間さんが、授業で使用するカンナを別のカンナで削っているところでした。

「どうしたんですか？」と尋ねると、「明日、明後日の授業のため、カンナを使いやすくメンテナンスしているのです。」という答えでした。

プロの職人さんの心構え・心意気を見せられた気がしました。よりよい木工作品をつくらせるためカンナの底を削る。カンナの使い方を正しく学ぶ子どもたちに“本物”を提供する準備と努力を惜しまない姿勢、「仕事っちゃ、こうやるんだよ。」と教えられたような気がしました。

